

熊本のい業

第21号

目次

いぐさ関係用語及び調査基準…………… 3

イグサ研究文献…………… 43

(附1) 会員名簿…………… 134

(附2) 連盟規約…………… 136

編集・発行

熊本県い業技術者連盟（熊本県庁農産課内）

熊本市水前寺6丁目18-1

電話（096）383-1111, 382-8612 〒862

平成5年6月30日発行 定価 1,500円

熊本県い業技術者連盟

熊本県い業技術者連盟

畳の部屋の リラックス効果

畳の部屋に寛ぎ感を覚える人も多いが、その要因として目に優しい畳の色や、五体を投げ出す事のできる自由度のほかに、畳表に織り上げた蘭草の香り成分があげられる。泥染めを施した染土蘭草と泥染を行わない生蘭草の芳香成分を分析するとその構成に若干の違いがあるものの、双方ともにリラックス効果の期待できる機能性芳香成分が全体の約半分を満たしている。芳香成分が残る純国内産の畳の部屋では、森林浴効果としての癒し効果があると言える。

蘭草の香り成分

新畳の部屋で特に感じる独特の香りは、畳表として織りあげた蘭草の芳香成分によるものである。

畳表製織前の泥染めをしない生蘭草の芳香成分を調べると、フィトンチッド 20.9%、ジヒドロアクチニジオリド 23.5%、 α シペロン 10.2%、バニリン 1.2%といったリラックス効果のある機能性成分の結果が得られた。一般的な畳表に織りあげる泥染め後の蘭草では、フィトンチッド 20.1%、ジヒドロアクチニジオリド 10.2%、 α シペロン 6.0%、バニリン 6.0%で、これらリラックス有効成分を合計すると生蘭草 55.8%、泥染め後の蘭草 42.3%と高い比率を示した。

【フィトンチッド】

森林浴における癒し効果の科学的根拠の一つには、樹木が発散するフィトンチッドとよばれる物質が作用しているといわれ、特に松や檜等の針葉樹林では発散量が多い。フィトンチッドとは森林の香りの源で、殺菌作用を持つ芳香成分。

【ジヒドロアクチニジオリド】

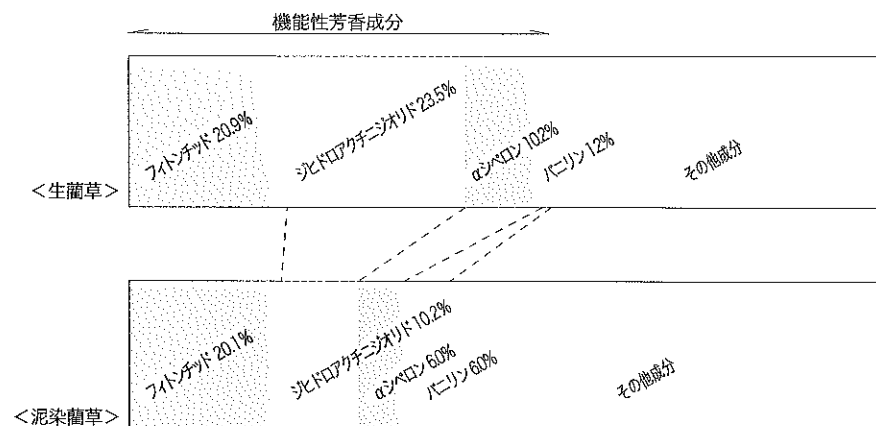
紅茶に含まれている芳香成分と同じもので、ジヒドロアクチニジオリド自体は香りを持たないが、他の芳香成分を保香する働きがある。

【 α シペロン】

リラクゼーションに役立つ成分。漢方薬やアロマオイルに使われる「香附子」の主成分。^{こふし}「香附子」とはカヤツリグサ科ハマスゲの球茎を乾燥したもののことを言うが、畳表に使われる蘭草もカヤツリグサ科である。

【バニリン】

アロマセラピーの精油や香水、お菓子などに用いられる香料、バニリンはよく知られた成分だが、リラックス効果の高い芳香成分である。生蘭草と畳表に使用する泥染後の蘭草では、泥染後の蘭草が約 5 倍の数値が測定された。



◇資料提供：北九州市立大准教授森田洋

イグサの生育・収量と気象要因との関係について

飯牟禮和彦・田島富男・木下猛夫・西島文敬 (熊本県農業試験場八代支場)

Kazuhiko IMURE, Tomio TAJIMA, Takeo KINOSHITA and Fumitaka NISHIJIMA :
Influence of Meteorological Elements on Growth and Yield of Mat Rush

イグサの生育・収量は栽培期間の気象によって大きく影響される。しかし、生産現場では経験的知識で対応しており統計的に分析した情報は少ない。そこで、熊本農試八代支場のイグサの各作期別作況試験のデータから相関係数を用いて、イグサの生育と気象との関係について考察した。

1. 解析に用いたデータ

1) イグサの生育・収量 イグサ普通刈作況判定試験による。1969, 1970, 1972, 1976~1984年産の計12年分。

2) 気象要因 平均気温、降水量、日照時間は熊本地方気象台の気象速報 (八代観測所) による。

2. 結果および考察

1) イグサの生育と気象との関係 茎の伸長は高温、寡日照で促進され、特に6月前半は日照時間との間に高い負の相関がみられた。茎数の増加については、生育初期の2月の気温との間に高い正の相関がみられた。さらに、5月後半と6月前半の日照時間との間に高い正の相関を示していることから、「長イ」発生期直前の先刈によって株元に光を十分に当てることで、茎数の増加、特に長イ茎の増加に影響することを認めた。

2) イグサの生育時期別相互の関係 茎長、茎数ともに生育前半と後半の間には、有意ではないが負の相関がみられた (第1表、第2表)。このことは、前半に生育が良いと後半はかえって悪くなる傾向があるといえる。これは、いわゆる「先ぼこり」によって収量が低下する現象を示していると考えられる。この「先ぼこり」の例として、1976年産イグサがあげられる。この年は、2月に気温が高かったことにより茎長、茎数ともに4月までは平年を上回ったが、以後、生育が衰えて平年を下回り、結局、収量で平年の85.8%、「長イ」重で77.6%の水準にとどまった。(第1図、第2図)。

また、4月15日以降収穫時までの時期別茎数は相互に高い正の相関を示した。これは、長イ母芽形成期にあたる4月に茎数が多いと、収穫時の茎数も多くなり「長イ」の収量も高くなることを示している。

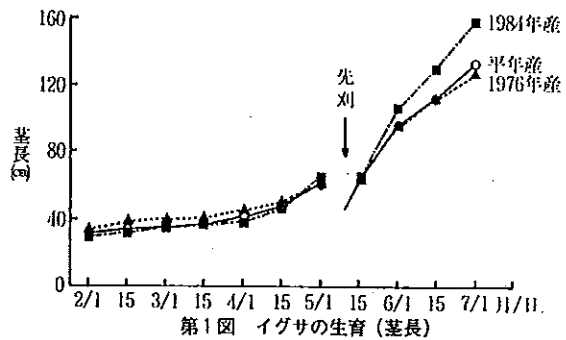
以上の結果から、3月まではほぼ平年並みに推移し、4月にはいって生育おう盛で、先刈前に「長イ」となる母芽が多い状態になっていることが増収につながるものと考えられる。1984年産イグサがその良い例といえる。この年は、2月から3月にかけて寒さが厳しく、初期生育が抑えられ平年をやや下回っていたが、4月にはいって気温が平年並みに回復し、茎数が急激に増加した。4月1日から5月1日まで1カ月間の茎数の増加は平年では37.5本/株であるのに対し、1984年産は64.0本/株と際立って多く、5月1日の時点で平年を大きく上回り、収穫時までその状態が維持され、収量として平年の125.6%、「長イ」重で154.3%と増収になった。その他の増収となった年度についても同様の傾向が認められた。

第1表 生育時期別相互の相関 (茎長)

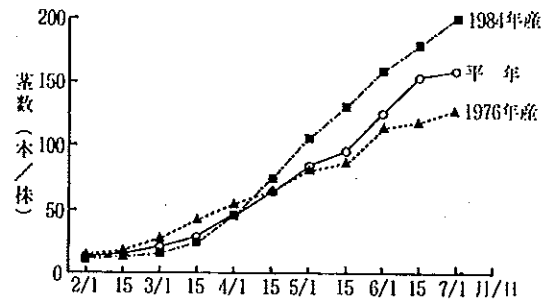
刈/日	2/1	2/15	3/1	3/15	4/1	4/15	5/1	5/15	6/1	6/15	7/1
刈/日											
2/15	0.77**										
3/1	0.39	0.87**									
3/15	0.12	0.48	0.71**								
4/1	0.25	0.30	0.21	0.32							
4/15	-0.40	0.00	0.23	0.25	0.65**						
5/1	-0.51	-0.31	-0.10	-0.01	-0.09	0.36					
5/15	-0.07	-0.32	-0.40	-0.33	-0.01	-0.03	0.36				
6/1	-0.12	-0.21	-0.17	-0.06	-0.35	-0.32	0.41	0.82**			
6/15	-0.28	-0.32	-0.19	0.03	-0.38	-0.31	0.40	0.55	0.85**		
7/1	-0.47	-0.39	-0.14	0.21	-0.44	-0.20	0.45	0.17	0.55	0.85**	
7/15	-0.40	-0.21	0.00	0.19	-0.42	-0.06	0.46	-0.09	0.31	0.61*	0.87**

第2表 生育時期別相互の相関 (茎数)

刈/日	2/1	2/15	3/1	3/15	4/1	4/15	5/1	5/15	6/1	6/15	7/1
刈/日											
2/15	0.92**										
3/1	0.82**	0.85**									
3/15	0.83**	0.76**	0.95**								
4/1	0.76**	0.61**	0.79**	0.89**							
4/15	0.49	0.30	0.41	0.54	0.83**						
5/1	0.06	-0.05	-0.02	0.07	0.40	0.81**					
5/15	0.06	-0.08	-0.07	0.05	0.43	0.82**	0.97**				
6/1	-0.12	-0.29	-0.25	-0.11	0.30	0.75**	0.91**	0.95**			
6/15	0.01	-0.12	-0.19	-0.03	0.40	0.70**	0.75**	0.86**	0.87**		
7/1	0.01	-0.17	-0.19	0.00	0.41	0.71**	0.77**	0.87**	0.89**	0.95**	
株数	0.29	0.06	0.07	0.26	0.61	0.83	0.83	0.87	0.82	0.83	0.81

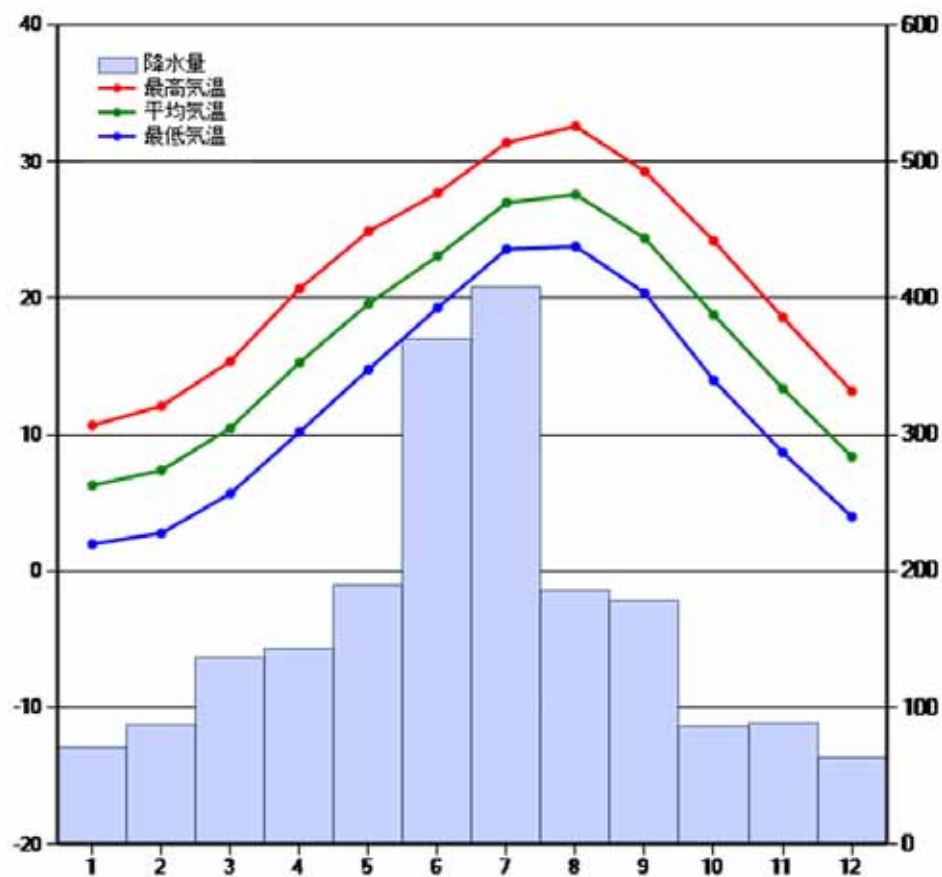


第1図 イグサの生育 (茎長)



第2図 イグサの生育 (茎数)

熊本県八代市・氷川町付近の気候（気温と降水量のグラフ（雨温図））

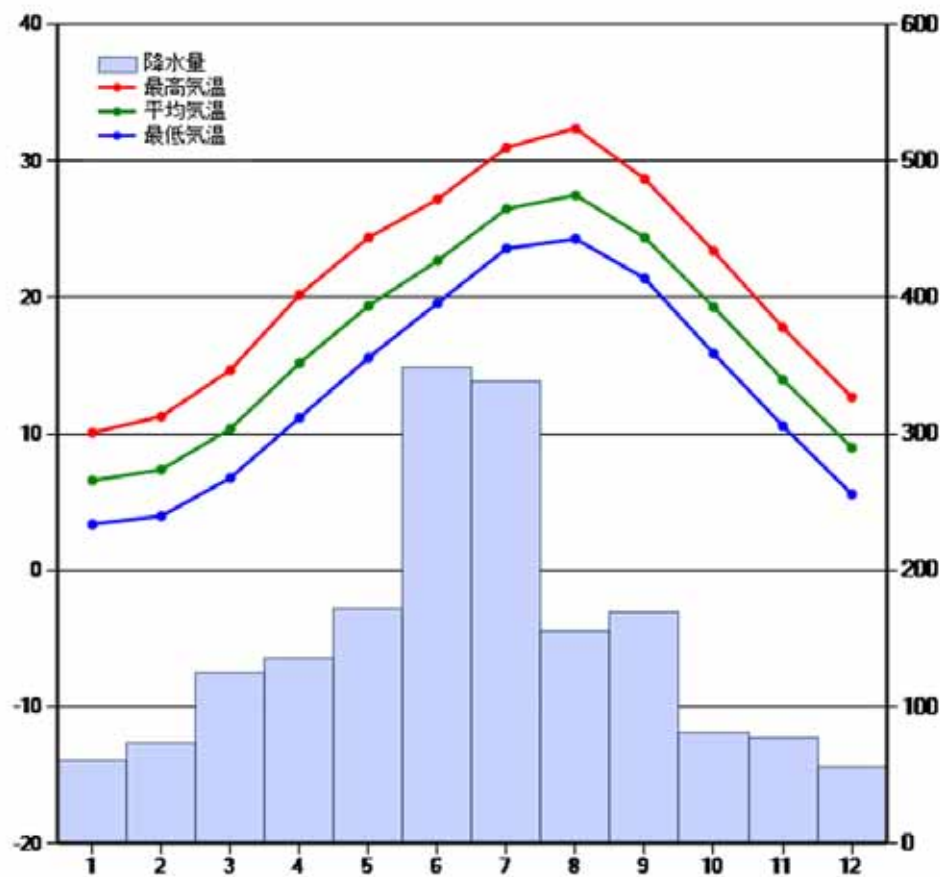


観測地点：八代 年平均気温：16.8 °C 年降水量：1979.0 mm 統計期間：1981～2010

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	10.7	12.1	15.4	20.7	24.9	27.7	31.4	32.6	29.3	24.2	18.6	13.2
平均気温(°C)	6.3	7.4	10.5	15.3	19.6	23.1	27.0	27.6	24.4	18.8	13.4	8.4
最低気温(°C)	2.0	2.8	5.7	10.2	14.8	19.3	23.6	23.8	20.4	14.0	8.7	4.0
降水量(mm)	71.5	87.2	137.1	142.8	189.3	369.7	408.5	186.3	178.0	85.9	89.3	63.2

データ元：気温と雨量の統計（<http://weather.time-j.net/Climate/Chart/yatsushiro>）より引用

熊本県宇城市付近の気候（気温と降水量のグラフ（雨温図））

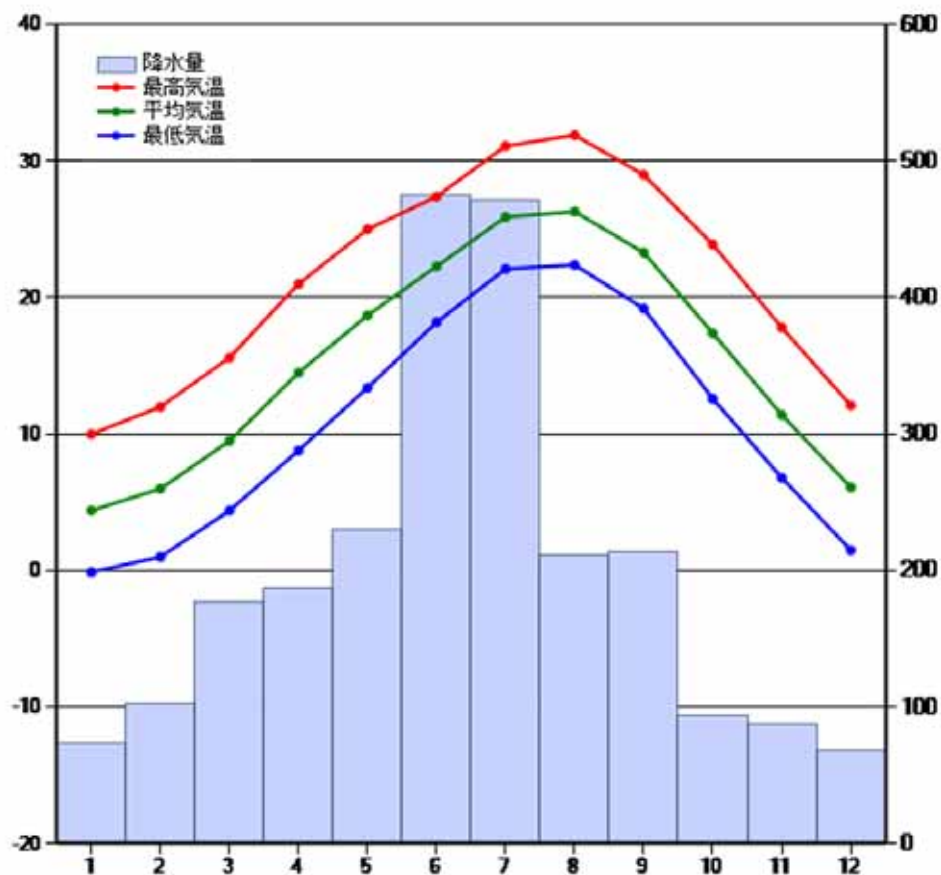


観測地点：三角 年平均気温：16.9 °C 年降水量：1776.4 mm 統計期間：1981～2010

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	10.1	11.3	14.7	20.2	24.4	27.2	31.0	32.4	28.7	23.4	17.8	12.7
平均気温(°C)	6.6	7.4	10.4	15.2	19.4	22.7	26.5	27.5	24.4	19.3	14.0	9.0
最低気温(°C)	3.4	4.0	6.8	11.2	15.6	19.6	23.6	24.3	21.4	15.9	10.6	5.6
降水量(mm)	60.9	74.0	124.9	135.8	172.3	348.9	338.3	155.5	169.0	80.7	77.8	55.3

データ元：気温と雨量の統計（<http://weather.time-j.net/Climate/Chart/misumi>）より引用

熊本県あさぎり町付近の気候（気温と降水量のグラフ（雨温図））



観測地点：人吉 年平均気温：15.5 °C 年降水量：2390.0 mm 統計期間：1981～2010

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	10.0	12.0	15.6	21.0	25.0	27.4	31.1	31.9	29.0	23.9	17.8	12.1
平均気温(°C)	4.4	6.0	9.5	14.5	18.7	22.3	25.9	26.3	23.3	17.4	11.4	6.1
最低気温(°C)	-0.1	1.0	4.4	8.8	13.4	18.2	22.1	22.4	19.2	12.6	6.8	1.5
降水量(mm)	73.6	102.8	176.5	186.6	230.7	475.1	471.4	210.8	213.3	93.4	87.7	68.2

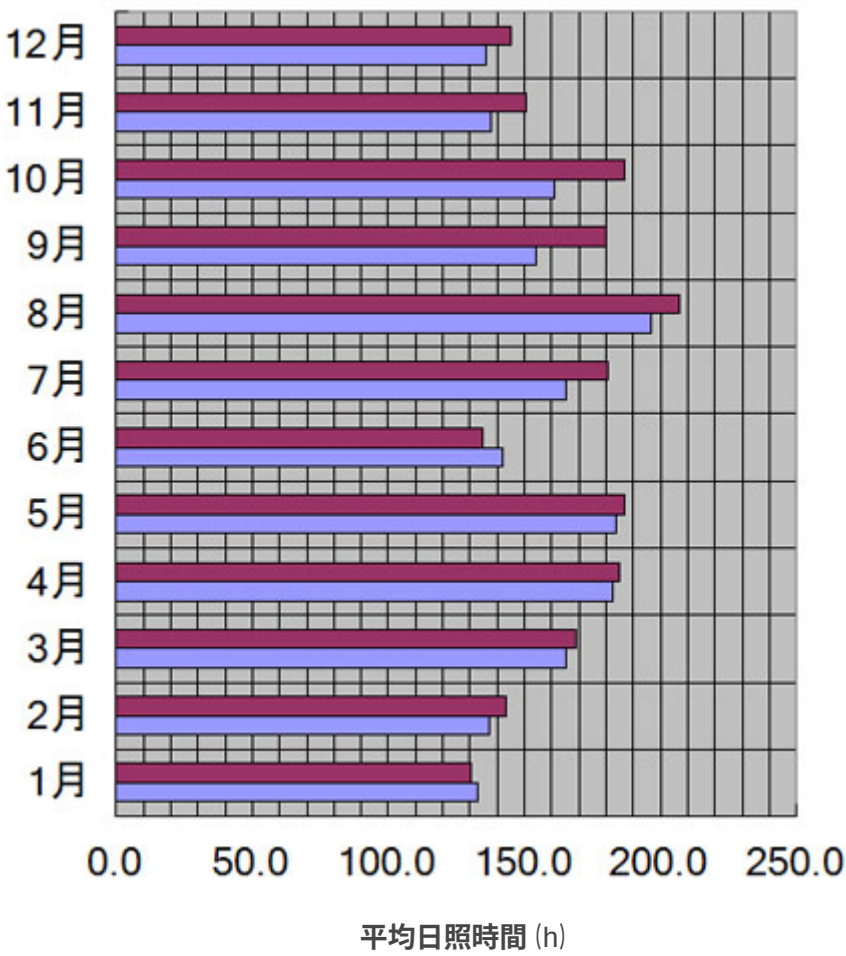
データ元：気温と雨量の統計（<http://weather.time-j.net/Climate/Chart/hitoyoshi>）より引用

熊本の日照時間 (気象庁データより集計)

年の月別の日照量 (時間) の平均値

■熊本の平均日照量 (時間)

■全国平均



月ごとの平均日照時間 (h)	
12 月	144.9
11 月	150.3
10 月	186.8
9 月	180.3
8 月	206.8
7 月	180.9
6 月	134.9
5 月	186.5
4 月	185.0
3 月	169.3
2 月	143.1
1 月	130.2

調湿性能

古来伝承されてきた日本建築では、自然素材（畳、木材、和紙、土等）を用いた伝統工法で高温多湿の自然環境に対応した換気の良い住宅環境を整えていたが、現代の建築工法ではコンクリートやサッシなどによって気密性が高まり、温度や湿度、換気などの意識的な調整が必要となっている。

関係省庁では建築衛生法、労働安全衛生法、建築基準法にて、室内の温度、相対湿度を定めており、室内温度は17℃-28℃、湿度 40-70%の基準値を定め、理想値としている。

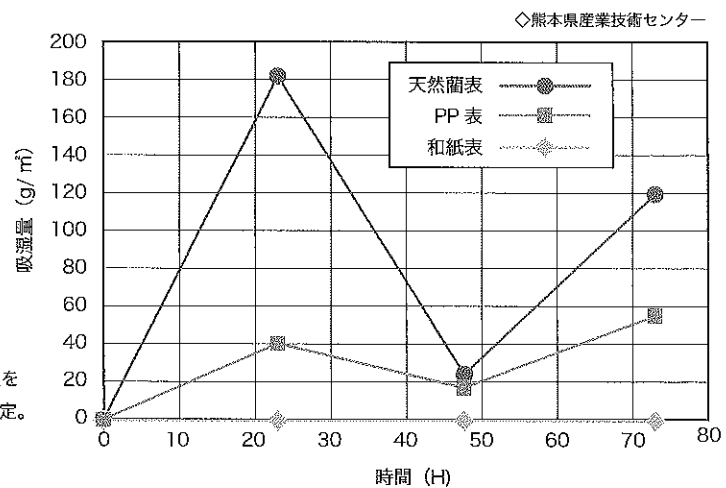
国産天然藁畳を織り上げた藁草畳表と、和紙に表面加工を施した和紙畳表、そして、ポリプロピレンを加工してつくる PP 畳表の調湿性について熊本県産業試験センターにて比較試験などを行ったところ、国産天然藁畳表の調湿性能が最も優れ、21-5%の範囲で吸・除湿を繰り返す機能を確認した。但し、和紙畳表、PP 畳表の全ての種類の試験値ではない。

吸湿・除湿比較試験

恒温高湿器を用いて、吸湿、除湿の繰り返し試験を行った。国産天然藁畳表の調湿性能が最もすぐれ、PP 畳表では国産天然藁畳表の四分の一以下、和紙畳表の調湿性能は認められなかった。

極めて優れた調湿性能を発揮した国産天然藁畳表は、原料となる健康な天然藁草の構造（表面が糊質で覆われ茎の内部は充実した海綿状）によるものと推測される。

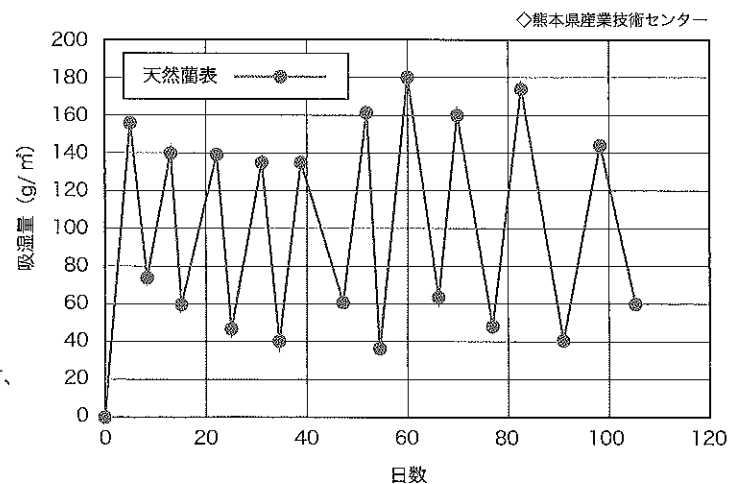
湿度 90%, 30℃, 24H / 湿度 45%, 18℃, 24H
2 種類の環境を交互に繰り返し、吸湿除湿の状態を
国産天然藁畳表、PP 表、和紙表の 3 種類で比較測定。



吸湿・除湿繰り返し試験

国産天然藁草畳表のデシケータ内・室内放置による吸湿・除湿の繰り返し性能測定を行なった。結果、40g/ m²の保湿度にて、理想的な湿度を維持し、吸湿・除湿の優れた機能が繰り返し発揮された。40g/ m²の保湿度は天然藁の茎の内部、海綿質が保水するためと考えられ、国産天然藁畳表は理想的な室内湿度を確保する機能があると言える。

吸湿：湿度 80%以上、
除湿：実験室内放置（湿度 45~10%）
強制的な多湿環境と放置による繰り返し試験にて、
国産天然藁畳表の吸湿、除湿性能を測定。



有害物質吸着性能

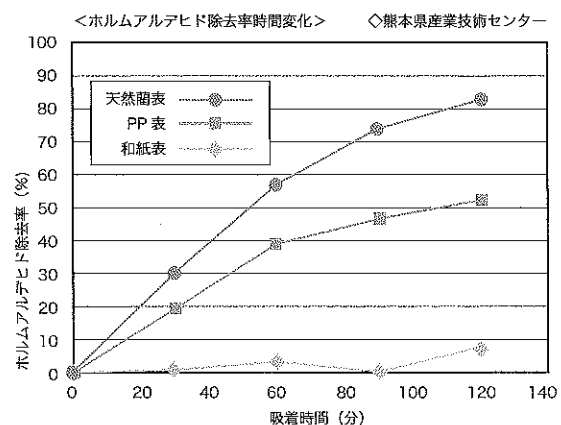
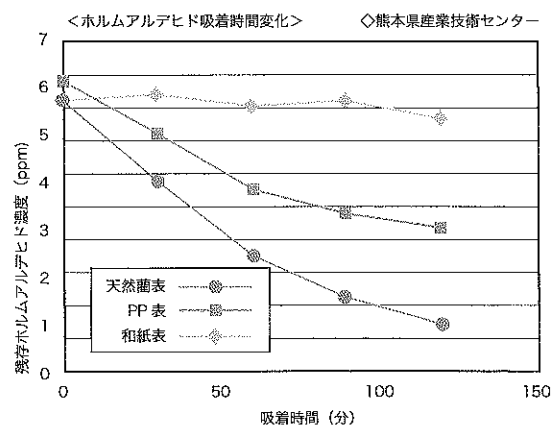
住宅の高機密、高断熱化が進み、有害な化学物質を含んだ建築材料や家具類を用いることで、室内の空気は汚染され、健康に悪影響を及ぼしている。頭痛やめまい、吐き気などの健康被害が生じるシックハウス症候群は原因物質としてホルムアルデヒドや揮発性有機化合物（VOC）があげられ、関係省庁がその測定法や新製品の開発、工場設備の改善にとりくみ、建築基準法では内装仕上げ材、換気設備、天井裏制限などによって規制をかけている。また、建築基準法で規制のかからない家具類には（社）全国家具工業会が独自の基準を設けている。

有害物質吸着性能の有無を調べるため、国産天然藁畳表、和紙畳表、PP 畳表におけるホルムアルデヒド、二酸化窒素、アンモニア、酢酸ガスなどの吸着試験を行った。但し、和紙畳表、PP 畳表には複数の種類があり、全ての種類を検証したものではない。

ホルムアルデヒド吸着実験

実験素材となる国産天然藁畳表、和紙畳表、PP 畳表を実験装置用の箱に設定後、箱内を真空としたのち該当有害ガスを充填、ガス循環ポンプを作動させ、箱内の濃度を一定にし、所定時間毎にガス濃度測定を行なった。

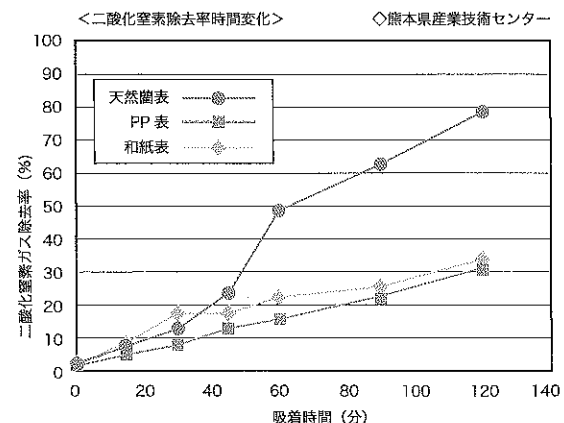
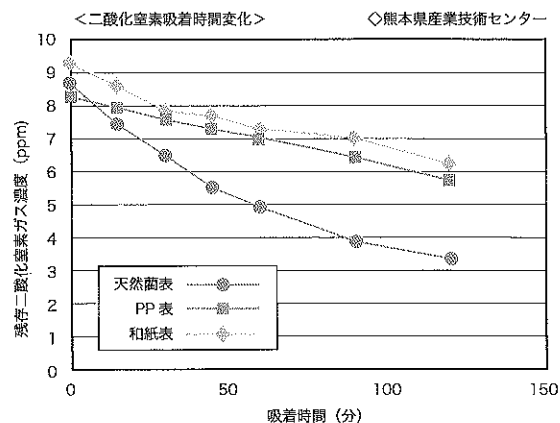
国産天然藁畳表は3点中最も高い性能でホルムアルデヒドを吸着し、和紙畳表では殆ど吸着する事はなかった。



二酸化窒素吸着試験

二酸化窒素は燃料の燃焼によって発生し、呼吸器疾患やアレルギー発生の要因となる。開放型暖房器具（石油ストーブ、ガスストーブ、ファンヒーター）使用の際には、十分な換気に注意しなければならない。

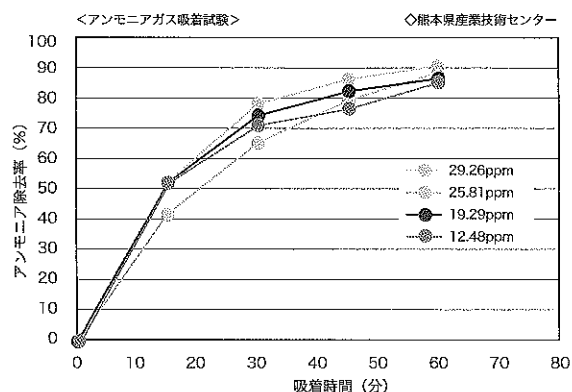
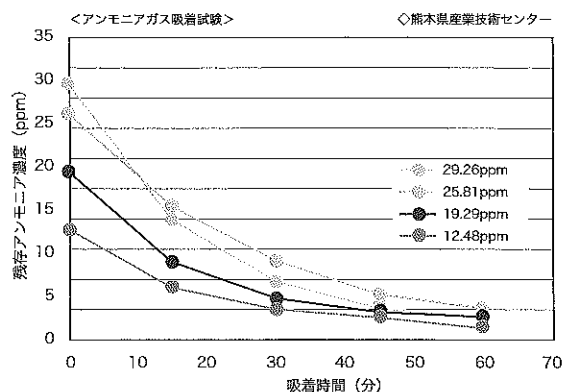
試験は、上記ホルムアルデヒドと同じ方法にて測定を行い、国産天然藁畳表は3点中最も高い性能で二酸化窒素を吸着し、和紙畳表の機能は最も低かった。



アンモニアガス吸着試験

アンモニアとは自然界では、水産加工品の残さ等が微生物によって分解され発生し、また尿尿系の排泄物や、コンクリート構造体からも発生する。常温常圧では無色の気体で特有の刺激臭がある。

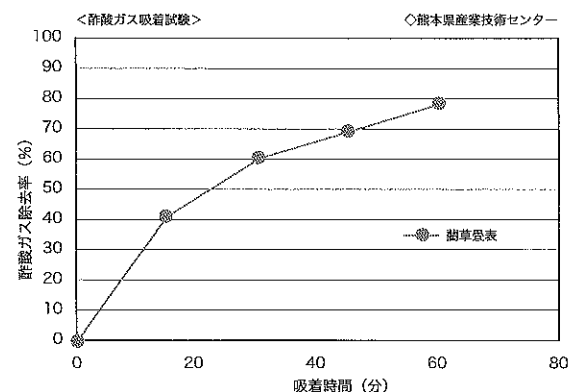
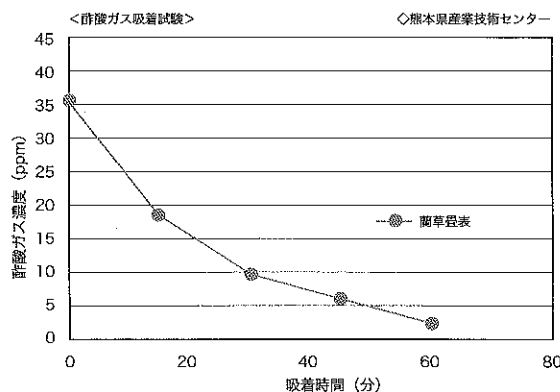
国産天然藺畳表を試験体として、4種類の濃度の異なるアンモニアガス吸着試験を行ったところ、濃度に作用される事無く、約1時間で約90%のアンモニアガスが吸着され、空気中のアンモニアガス成分は除去された。



酢酸ガス吸着試験

酢酸ガスはシックハウス症候群の原因物質のひとつで、木質系材料や接着剤から放散される。

国産天然藺畳表の酢酸ガス吸着性能を試験したところ、約1時間で70~80%が吸着、除去された。



国産天然藺畳表のガス吸着性能のまとめ

■二酸化窒素、ホルムアルデヒド、アンモニア及び酢酸ガスの吸着性は良好で、室内環境基準維持に有用性があるといえる。

◇熊本県産業技術センター

ガス名	吸着前ガス濃度 (ppm)	除去率 (%)	吸着試験時間 (分)
ホルムアルデヒド	3.10～ 8.02	80.20～87.80	120
二酸化窒素	4.40～ 8.75	61.00～78.60	120
アンモニア	12.48～29.26	87.30～91.40	60
酢酸	42.30	74.00	60

熊本のい業

第 12 号

目 次

いぐさ栽培優良事例調査から

県経営普及課専門技術員 簗田 繁 則…………… 1

県八代農業改良普及所

いぐさ——大豆の栽培法について

県農業試験場八代支場 佐藤 巖…………… 10

宇城地方のい草、い製品の生産状況について

県宇城農業改良普及所 岩崎 嵩…………… 19

土づくりと耕種基準の遵守による畳表の品質向上

県八代農業改良普及所…………… 24

球磨地方いぐさのあゆみ

岡原農協 立山 信 幸…………… 26

いぐさ、い製品品質向上コスト低下運動について

県農産課…………… 28

昭和57年度くまもと表求評会について

県農産課…………… 39

いぐさ新製品開発事業について

県農産課…………… 42

《技連だより》

省エネルギー技術実用化促進事業について

県農業試験場八代支場

球磨いぐさのあゆみ

岡原村農協参事 立 山 信 幸

1. いぐさ導入の背景

従来、球磨地方の農業は主として米＋畜産、米＋たばこ、米＋養蚕等々、米を主軸とした複合経営が行われてきた。昭和40年～42年頃は、米づくり運動の盛期であったが、運動の骨子は、うまい米、うれる米作りである。その当時から米は過剰基調にあり、その中での運動であった稲作主体の経営を展望するとき、どうも怪しい雲行きしかうかばない、とき恰も昭和41年頃より県営ほ場整備事業が球磨全土に導入され、事業実施に伴ない、裏作が作付不能となる。中でも裏作補償問題等が起り、農業所得の収入減を如何にして補充すべきかと連日連夜、夜を徹しての検討がなされた。協議の末、球磨地方に於いては夢想だにしなかった、い草に着目し、当時の岡原農協組合長、井本初雄氏を中心とし命運をかけた新たな作目導入の選定であった。営農指導陣を叱咤激励、組合長自から先頭に立ち、指導研究のもと昭和41年度より組合員6人による25aの試作がなされ、その適応性と有望性の追求が始められた。これぞ球磨いぐさの起源となる。現在全国に名をなした銘柄品として球磨地方に定着したい草栽培の元祖である。

2. 球磨い業の経過

昭和42年 面積 25 a (6 戸) 前年冬植付

昭和43年 面積 1.9 ha (25 戸)

昭和44年 面積 10.3 ha (93 戸)

郡市農協はい草を地域特産重点作目として奨励することに決し、市町村とも協議のうえ球磨地方い業振興協議会(会長 宮元玄次郎)を設立し組織活動による普及奨励の第一歩が踏み出された。

昭和45年 面積 22.3 ha (195 戸)

第1回い草生産者大会の開催と組織活動の展開で栽培意欲が急速に高まってきた。

昭和46年 面積 103.2 ha (554 戸)

昭和47年 面積 180.6 ha (799 戸)

農業構造改善事業により当時の免田町農協(現在合併により中球磨農協)を事業主体とし、郡市い原草集荷施設324㎡が建設された。

昭和48年 面積 160 ha (633 戸)

い製品の系統共販が経済連評価取扱い方式で原草集荷所に搬入集荷して開始された。かたや免田町吉井には商系市場が開設され共販攪乱への影響甚大であった。

昭和49年 面積 155.2 ha (642 戸)

昭和50年 面積 179.8ha (616戸)

農民の熱願が系統組織の団結に結集され、独占商系市場を壊滅して生産者の手中に収め熊本い業史に輝く農協市場開設の偉業を成し遂げた。これと呼応して既設商系球磨市場の建物450㎡と敷地を買収し待望のい製品球磨農協市場として8月の新表初市から開市の運びとなった。

昭和51年 面積 159.5ha (441戸)

昭和52年 面積 252.7ha (588戸)

米の生産調整による新規耕作と既耕作者の増反による経営の安定化指向と相俟って作付が拡大されてきた。

昭和53年 面積 315.4ha (674戸)

い業組織も時流に添い生産者の系統組織体に改組することとなり過去大きな使命を果たしてきた球磨地方い業振興協議会を発展的に解散し熊本県い業生産販売振興会球磨支部(支部長 尾方時丸)が設立された。

かたやい製品市場が狭隘となり支障を来すため221.5㎡の増築を行い、又敷地の一部を購入して1960.7㎡に拡張された。

昭和54年345ha(650戸)と組織的普及活動が盛んになり昭和44年から10年の歳月を経て対外的にその銘柄が評価されるまでに至り、その意義深い10年の節目を記念し八代郡千丁町に鎮座まします、い草の守護神、岩崎神社の分神鎮座を乞い、球磨郡上村に神社建立分神を奉った。

昭和55年362ha(620戸)昭和56年301ha(547戸)昭和57年257ha(452戸)と経営面積一躍拡大され発想から15年で球磨い草が特産地として定着し、今日ではい草、い製品共、県内はもとより全国一位の価格で取引きがなされている。水稻に次ぐたばこ代金を追抜くまでに発展した。

3. む す び

省りみるに、い草にかかわる総ての者の情熱と努力の積み重ねが球磨い業の今日を築き上げたものであり、これをふまえて1980年代こそ他の追従し能わぬ最良銘柄への改善創造の年代として総力を結集邁進ゆるぎなき球磨い業を確立これを次代に継譲することが今日我々に果せられている使命と痛感し相共に協力団結してこれを成し遂げられんことを切願するものである。

熊本県の いぐさ優良品種

ひのみどり

(1) 育成の経過

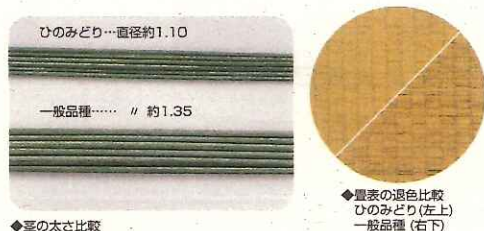
「下増田在来」と「せとなみ」を親とし、平成2年にい業研究所にて個体選抜を行い、平成10年に「ひのみどり」と命名し、平成13年に品種登録されました。

(2) 特徴

- ① 他の品種と比べ茎が細く、畳表に加工したとき、表面がきめ細やかで折り目が良く通ります。
- ② 着花や変色した茎が少ない品種です。
- ③ 先端部の枯れ込みが少なく、根元まで緑色で綺麗な品種です。

(3) 「ひのみどり」の魅力

他の品種と比べ茎が細く、変色した茎の発生が少ないため、表面がきめ細やかで折り目が良く通った畳表を織ることができます。



夕風

(1) 育成の経過

「いそなみ」と「沖縄太い」の自殖種子由来系統を親とし、平成5年にい業研究所にて個体選抜を行い、平成17年に「夕風」と命名し、平成19年に品種登録されました。

(2) 特徴

- ① 茎の長さは、従来品種の「岡山3号」と同程度であり、「ひのみどり」より長い品種です。
- ② 茎の太さは、従来品種の「岡山3号」と同程度であり、「ひのみどり」より太い品種です。
- ③ 部分的に変色した茎の発生は、「ひのみどり」と同程度と少ない品種です。
- ④ 摩耗強度は強いため、丈夫な畳表を織ることができます。

(3) 「夕風」の魅力

茎色は深い緑色で、長茎が多く、部分変色茎が少なく、茎が硬いことから、美しく丈夫な畳表を織ることができます。

そのため、染土を使用しない畳表の原料にも適します。



ひのはるか

(1) 育成の経過

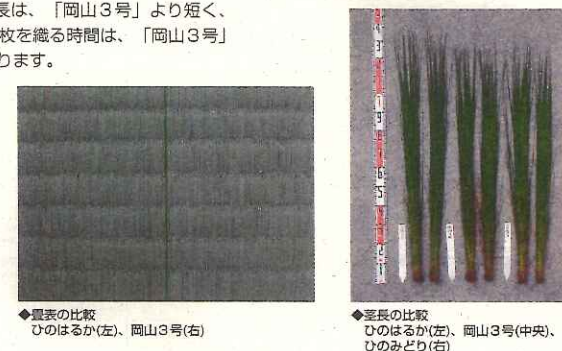
「熊本3号」と「広系21002」を親とし、平成7年にい業研究所にて個体選抜を行い、平成18年に「ひのはるか」と命名し、平成19年に品種登録されました。

(2) 特徴

- ① 茎の長さは、従来品種の「岡山3号」や「ひのみどり」より長い品種です。
- ② 茎の太さは、従来品種の「岡山3号」より細く、「ひのみどり」より太い品種です。
- ③ 部分的に変色した茎の発生は、「ひのみどり」と同程度と少ない品種です。
- ④ いぐさ茎300本当たりの畳表の製織長は、「岡山3号」より短く、「ひのみどり」より長い。畳表1枚を織る時間は、「岡山3号」より長く、「ひのみどり」より短くなります。

(3) 「ひのはるか」の魅力

茎が「岡山3号」等の従来品種より細く、部分変色茎の発生が少ないので、きめ細やかで綺麗な畳表を織ることができます。



涼風

(1) 育成の経過

平成8年に「ひのみどり」を母とし、「KS001002」(「沖縄太い」自殖種子由来系統)を父として人工交配し、約17年の歳月をかけて育成・選抜してきました。

平成25年に蒸し暑い夏を難無く乗り切るように、また、厳しい逆境をさらりと過ごせるように願いを込めて「涼風」と命名され、平成27年3月に品種登録されました。

(2) 特徴

- ① 茎の長さは、「岡山3号」や「ひのみどり」より長い品種です。
- ② 長茎乾重、長茎乾重率ともに「ひのみどり」「夕風」「岡山3号」より優れています。
- ③ 茎300本当たりの製織長は、「ひのみどり」より長く、「夕風」と同程度です。
- ④ 本田での枯死株の発生は、「夕風」よりかなり少なく、「ひのみどり」よりやや少ないです。

(3) 「涼風」の魅力

八月苗床及び本田での枯死株発生が極めて少ないうえ、「ひのみどり」「夕風」「岡山3号」より長茎収量が多いです。

また、茎が中太で十分硬く、「ひのみどり」より単位時間当たり多くの畳表を生産することができるため、生産性の高い畳表用いぐさ品種として有望です。

